

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）②①

本日4月12日、まん延防止等重点措置が適用されたことによる組合員施設の状況を確認するため調査を実施いたします。また、4月9日に開催された第8回沖縄県経済対策関係団体会議において沖縄ツーリズム産業団体協議会の構成団体として、下記要望をいたしましたことを報告します。

要望『2年連続、誘客集客の機会が奪われることで経営困難に陥るのは目に見えている。よって、その期間中のキャンセルに対する保障もしくは補てんをしていただきたい。』

※皆さまからご回答の集計データについては、数字のみ活用し、施設名は外部に公表いたしません。

※毎月実施している影響調査の集計結果もホームページに掲載しておりますのでご活用ください。

令和3年4月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

調査対象:296軒 うち回答:31軒(回答率 10.5%)

1.『まん延防止等重点措置』の適用前の予約人数・売上・稼働率、適用後の状況としてキャンセル人数・被害額・稼働率を教えてください。

適用前		4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4
	予約人数	3,572名	4,167名	5,468名	6,223名	496名	4,061名
	売上(予測)額	44,991千円	52,478千円	89,820千円	108,717千円	3,458千円	69,632千円
	稼働率	40.4 %	45.7 %	57.2 %	61.2 %	24.1 %	43.9 %
		5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	4/29～5/9 合計
	予約人数	2,802名	2,492名	2,532名	2,442名	1,640名	41,083名
	売上(予測)額	33,139千円	29,545千円	29,154千円	26,242千円	16,520千円	605,643千円
	稼働率	36.3 %	28.1 %	25.9 %	25.6 %	18.1 %	39.9 %

適用後 (4/12以降)		4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4
	キャンセル人数	868名	1,053名	1,472名	1,627名	1,481名	1,017名
	被害額	6,473千円	6,339千円	16,316千円	16,171千円	15,965千円	8,600千円
	キャンセル後の稼働率	36.4 %	41.2 %	46.8 %	51.9 %	40.2 %	36.9 %
		5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	4/29～5/9 合計
	キャンセル人数	652名	496名	510名	374名	250名	9,800名
	被害額	4,044千円	3,458千円	3,061千円	1,336千円	1,700千円	83,463千円
	キャンセル後の稼働率	26.7 %	24.1 %	22.9 %	21.5 %	14.8 %	33.0 %

適用前から適用後にかけて、キャンセルが発生し影響が出ていることは確かではあるが、キャンセルと新規予約が日々入れ替わり動いているような状況が見受けられるので、状況が読めない。

【コメント欄】

- ・まん延防止等重点措置が発表後、キャンセルも増えていますが、新規予約も入っているため適用後の稼働率が必ずしもマイナスの数字ではありません。
- ・今年のGWとしての設定は、5月1日より5日のみであり、その前後は特に今回の件とは無関係であるとする。
- ・4月12日正式に適用になる前にも多数取消が発生している。
- ・2月の時点で5/1～5/3は100%でした。適用前と適用後の間に予約してはキャンセルが目立っているかなと思います。
- ・4月に入ってから、まったく予約がありません。
- ・適用が公表された直後より、日を追ってCXLが増えていくと予想される為、現時点ではまだ被害が少なく見える。
- ・2020年5月は全館休館、2021年5月のオンハンドは19.2%です。6月の団体問合せあるものの仮予約の状態からキャンセル多数です。オンハンド4/15⇒9%（2020年同日9.1%、着地8.1%）
- ・まん延防止になってからキャンセルは少ないのですが（ビジネスマン利用が多いため）感染人数は日に日に増えているので、このままでは経営が難しくなるのは目に見えています。
- ・元々、低調なオンハンドでした。
- ・金額に関しては非公開です

2. 5月から夏場に向けての状況を教えてください。

- ・5～6月2019年実績がないので、比較はできないが、報道の影響を受けやすく、入ってはキャンセルされが続いている。7月の連休、8月のお盆以外は動きが弱くスロースペースである。
- ・5月GWの予約が50%台稼働になってましたが、まん延防止等重点措置で大幅減少。6月は更に減少。7月～8月に関しては予約は入ってきますが例年の稼働率には至っていない状況です。
- ・4月・5月・6月の稼働は前年より動きは良いが、コロナ発生前に比べると6割程度。7月・8月・9月に関しては、コロナ発生前とほぼ変わらない予約状況。
- ・5・6月は2019年対比4割程度。キャンセルが相次ぎ稼働ゼロの日が何日かある状況。7月8月に関してはこれからの政府や自治体に期待したい。（全く動きが見えないため）
- ・5月～6月は、前年同等の稼働率、売上では2019年対比5割程度。7月～8月はオンハンドも少ないので不明。
- ・5月6月は2019年対比、2割程度。予約の直近化もありGW以降はまだ動きがほとんどない状況です。
- ・昨年は5月～6月を臨時休業。7月～8月の予約は動いておらず、前年同日比では昨年対比3割程度。
- ・5月以降の動きが全く無く、不透明な状況。特に6月の動きが全くと言っていいほどない。
- ・5月～6月は4割～5割ほどの予測。7月～8月は読めない。
- ・5月6月は2020年をわずかに上回っているが、2019年に比べると大幅に下回っている。

- ・ 5月はまん延防止等重点措置提供後、修学旅行がほぼキャンセルとなった。トップシーズンも稼働が著しくない。微量にしか動きがない状況。
- ・ 5月はGW以降の予約はほぼ無い。6月初めの学校関係予約（3泊）も白紙になりそうで怖い。5月半ばから7月いっぱいまで工事関係の予約が入ったので7月はまあまあです。8月は内地盆以降の予約はまだ入っていません。
- ・ 6月の予約は去年より2割程度。
- ・ 直近の予約がメインで、先々の予約の動きはない。Go Toの状況を待っていると見受けられる。
- ・ 観光される方が状況を静観している傾向にあり、先の予約数が伸びず、直近になってから予約に変動があるように見受けられる。
- ・ 修学旅行の取り消しも相次いで個人の取り込みも厳しい。多く取り込みをしても最終的には取り消されるのではという不安も大きい。
- ・ まん延防止措置後、修学旅行が2校キャンセルになりました。これから個人や一般団体の5月・6月のキャンセルがくると考えられます。7月・8月はまだ動きが見えていません。
- ・ GW明けから動きが悪い。GWも料金を下げてプランを出している。7月は団体の仮予約が入っているが、まだ決定になるかキャンセルになるかわからない状況で先方からも、コロナの状況次第という返答である。
- ・ まん延防止措置とコロナ感染の増加により修学旅行取消有。7月の小学生スポーツ大会取消。2019年に比べて2021年は5月～8月の稼働率が5割減の状況です。予約の見通しがつかない。
- ・ 当ホテルはこの時期はスポーツ合宿やスポーツ大会などの予約が通常だと入ってくる時期です。現在では仮予約はあるのですが、こういった状況なので様子を見ながらの予約です。4/12現在でも仮予約団体は何件もありましたが、まん延防止になった為キャンセルが相次ぎました。稼ぎ時の時期だったのが一転厳しい状況になっています。当ホテルはビジネス客も多いのですがまん延防止で自粛やリモートでの仕事が多くなっているため、ビジネス客も現在ではまばらの予約です。観光・ビジネスホテルは時間短縮もないので、ましてや従業員も休ませるわけにはいきません。沖縄県の感染者が増えてきているので怯えながら業務を行っている状況です。
- ・ まん延防止措置発表後に、5月～6月の修学旅行キャンセルが発生！GWは、キャンセルと新規の入れ替わりが日々発生しながらの動き。（現状からして更なる減少を予測）GW明けの5月～6月が全く動かない状況。一部、GWから夏に日程変更の動き有。夏場の状況は、前年同期比で、7月＝マイナス4%、8月＝マイナス7%の状況。
- ・ 2019年度同週比（人数ベース）
 5月全体で31.8%（修旅43.8% エスコート0% 団体0% 個人旅行12.1% web55.7%）
 6月全体で42.7%（修旅52.4% エスコート0% 団体25% 個人旅行17.1% web31.2%）
 4月5月は先週からキャンセルが続き、修旅も動向が気になるのが現状です。
- ・ 全く視界不良です。

3. ホテル組合へのご意見・ご要望などがあればご記入ください。

- ・ 飲食店にだけ給付金があり、ホテル業界にはないので対策（支援金）などをホテル観光業界に行うべきだと思います。このままでは、沖縄から観光・ビジネスホテルが消えていく可能性もあると思うのでどうにかホテル運営（雇用）を守るために早めに対策を希望します、
- ・ 飲食店ばかり協力金があるが、他の観光業も相当苦しいと思う。せっかく、昨年事業承継したのに、経営しきれぬ不安しかありません。
- ・ 感染予防の観点からは、まん延防止は仕方がないと思うが、飲食店に対しての協力金は支払われ、なぜその他の観光業に対しては何も助成がないのか、是非組合が中心となって声を上げてほしい。
- ・ 厳しい状況で売上も一昨年に比べかなり減少しました。アルバイト含め変わらない雇用状態維持、当ホテル持続の為更なる補助金を求めます。キャンセル相次ぐこの状況が本当に苦しいです。Stayhotel事業等沖縄独自の活動をこれからも希望します。前回は何もすく助けられました。稼働率が上がり、当ホテル従業員も活気にあふれていました。（だからといってコロナのダメージは続いています）
- ・ とにかく頑張るしかないと思いますが、県や国は飲食店にだけ給付金を出しているのは不公平だと思います。ホテルを運営側とレストラン運営側が別々のホテルもあります。一方（レストラン側）には給付金があり、ホテル宿泊運営側には給付金がないのはおかしいので、このような運営を行っている経営者もいますので、ホテル運営側にも給付金が必要だと思います。
- ・ キャンセル対応に保障できる事を望む。雇用調整助成金の延長願い。
- ・ 雇用調整助成金の延長をお願いします。
- ・ アンケートについて PMSの関係上、過去の売上は出せますが、将来の分については売上を出すことができないため算出できません。ご了承ください。
- ・ できましたら、FAXではなくメールか、WEBでの回答方法をお願いしたいです。アンケートの回答結果を、回答施設にフィードバックいただきたいです。
- ・ 返信先は、FAX以外にメールアドレスも記載いただきたい。